

報道関係者各位

<特別展のご案内>

没後220年 画遊人・若冲

—光琳・応挙・蕭白とともに—

会期：2020年10月4日（日）～2021年3月28日（日）



岡田美術館（館長・小林 忠）は、2020年10月4日（日）から2021年3月28日（日）まで、特別展『没後220年 画遊人・若冲 —光琳・応挙・蕭白とともに—』を開催いたします。

本展では、伊藤若冲^{いとうじゃくちゆう}（1716～1800）の没後220年を記念し、当館収蔵の伊藤若冲の作品全7件を一挙公開します。30代後半から晩年（80代）までの着色画4件・水墨画3件がそろって展示されるのは、2016年以来です。83年ぶりに再発見され話題を呼んだ大作「孔雀鳳凰図」や、墨の妙技が光る「月に吠々鳥図」、ユーモアあふれる「三十六歌仙図屏風」など、若冲の技量の高さ、幅広さを物語る作品が一堂に会します。さらに、若冲が学んだ狩野派や尾形光琳、光琳の弟・尾形乾山、同時代の京都画壇の覇者・円山応挙、鬼才ぶりが注目される曾我蕭白らの作品も展示します。

京を彩った多彩な作品とともに、「画遊人・若冲」の世界をお楽しみください。

見どころ1

岡田美術館の若冲7件、一挙公開

岡田美術館収蔵の伊藤若冲の作品を4年ぶりに全て公開します

見どころ2

光琳・乾山兄弟との関連に注目

若冲が手本にしたとされる尾形光琳や、同じく禅に傾倒した乾山にも注目します

見どころ3

若冲と同時代の京の画家5人衆

池大雅、与謝蕪村、円山応挙、曾我蕭白、長沢蘆雪の作品も併せてご紹介します

入館料が無料に！？「伊藤若冲さん」入館料特別割引キャンペーン！

見どころ1 岡田美術館の若冲7件、一挙公開

岡田美術館収蔵の伊藤若冲の作品を4年ぶりに全て公開します

若冲は、鮮やかな彩色、生き生きとした花鳥の姿、細密描写の見事な着色画で人気を博しています。一方、色彩に優れた画家であればこそ、墨一色で多彩なイメージを描き出す水墨画にも優れました。本展では、双方の名品を一堂に展示し、年代による変遷を辿りながらお楽しみいただきます。



かきゆうけいず
①「花卉雄鶏図」
18世紀中頃 [30代後半]
線描や彩色に初々しさ
の見える初期作。



くじゃくほうおうず
②「孔雀鳳凰図」宝暦5年(1755)頃 [40歳頃] 重要美術品
4年前、83年ぶりに再発見され話題を呼んだ大作2幅。
百鳥の王・鳳凰と清雅な白孔雀が長寿を象徴する松に囲
まれ、白孔雀には富貴の花・牡丹が添えられている。



ばいかしろうきんず
③「梅花小禽図」
18世紀後半 [40代後半]
愛らしいメジロが憩う
のどかな早春の風景。

【伝記】

伊藤若冲(1716~1800)は、京の錦小路で青物問屋を営む「枡屋」(通称「枡源」)の長男として生まれました。数え年23歳で父の跡を継いで家長を務めたのち、40歳で弟に譲り画業に専念します。はじめ狩野派に学び、中国画の模写へと進み、ついには実物を観察することを第一として、迫真の絵を描くようになったと伝えられています。金閣寺の障壁画50面や、「動植綵絵」30幅(宮内庁三の丸尚蔵館蔵)など大作を描いて名を成した若冲は、73歳のとき天明の大火により家屋敷を失ってしまいます。困窮に弟の死が重なる失意の時を超えて、伏見の寺の門前に隠居し、85歳で亡くなるまで絵画三昧の生活を送りました。



せっちゆうけいず
④「雪中雄鶏図」
18世紀後半 [40代後半]

雪中の雄鶏が振り向いた緊張の瞬間。



かき にわとりず
⑤「笠に鶏図」
18世紀後半 [40代後半]

墨の濃淡と多様な筆致の組み合わせが絶妙。



つき ははらうず
⑥「月に叫々鳥図」
18世紀後半 [40代後半]

単純・奇抜な構図に墨色と筆致が冴える。



⑦「三十六歌仙図屏風」寛政8年(1796) [81歳]

江戸時代には、俳諧の広がりとともに、歌仙たちが遊び心のある姿に描かれるようになった。この屏風は、光琳が得意とした当時の歌仙図をパロディ化したもの、とする説がある。

見どころ2 光琳・乾山兄弟との関連に注目

若冲が手本にしたとされる尾形光琳や、同じく禅に傾倒した乾山にも注目します

若冲の伝記に「光琳の筆意を用いた」という一節が見られます。若冲の生年に亡くなった尾形光琳(1658～1716)は、一時代前の人気絵師として大きな存在であったのでしよう。一方、光琳の弟・尾形乾山(1663～1743)は、禅に傾倒し、若い頃から隠遁趣味のあった点で、若冲と志向を同じくしていました。



⑧尾形光琳「菊図屏風」のうち(左隻)18世紀初頭

文様化された量感豊かな花々と、写生にもとづく軽やかな葉の表現が融合した、典雅にして生動感に富む金屏風。



「菊図屏風」(左隻部分)



尾形光琳「布袋図」18世紀初頭

ほほ笑む布袋の軽妙な味わいは、確かな筆づかい・墨づかいの賜物。



⑨尾形乾山
「夕顔・楓図」
元文5年(1740)頃

陶工・乾山が晩年に残した絵画の代表作。

見どころ3 若冲と同時代の京の画家5人衆

いけたいが よ さ ぶそん まるやまおうきよ そ が しょうはく ながさわろ せつ
池大雅、与謝蕪村、円山応挙、曾我蕭白、長沢蘆雪の作品も併せてご紹介します

若冲 53 歳のとき発刊された『平安人物志』（京都の人名録）で、若冲は画家の部 No.3 として登場し、次に刊行された 60 歳のときは No.2 に上がりました。2 回とも若冲の上にあったのが円山応挙（1733～95）、若冲の後に続いたのが池大雅（1723～76）と与謝蕪村（1716～83）です。若冲と人気を競ったこの 3 人に、応挙門下の異才・長沢蘆雪（1754～99）、奇行で知られる曾我蕭白（1730～81）を併せ、京画壇が盛り上がった時代の選りすぐりの画家たちの作品をお楽しみいただきます。



池大雅
「関帝像」
明和 8 年（1771）

ヨモギとショウブを添えた英雄の絵は、端午の節句に飾られたのであろう。



与謝蕪村
「溪屋訪友図」
18 世紀後半

中国風の山水画に、川を渡る俳画風の人物を加えた蕪村らしい 1 幅。



⑩円山応挙
「三美人図」
のうち（太夫図）
天明 3 年（1783）
重要美術品

1本の髪筋に至るまで細部描写に徹して描いた迫力の太夫図。



⑪長沢蘆雪「牡丹花 肖 柏図屏風」18 世紀後半

大胆な筆づかいと、まだ濡れているかのような墨色が、蘆雪の水墨画の最大の魅力。



曾我蕭白「飲中八仙図屏風」18 世紀後半

酒を好んだ蕭白にぴったりの、中国の酔っぱらいたちを描いた屏風。



【開催要項】

- 展覧会名 没後 220 年 画遊人・若冲 一光琳・応挙・蕭白とともに—
会期 2020 年 10 月 4 日(日) ～ 2021 年 3 月 28 日(日)
休館日 12 月 31 日(木)、1 月 1 日(金)
主催 岡田美術館
所在地 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷 493-1
開館時間 9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)
入館料 一般・大学生 2,800 円 (2,550 円) 小中高生 1,800 円 (1,550 円)
※ () 内は前売り料金。前売券 (JTB レジャーチケット、チケットぴあ) は、
主要コンビニエンスストア並びにチケットぴあにて販売

「伊藤若冲さん」入館料特別割引キャンペーン！

- ◆「伊藤さん」→1,000 円引 ◆「若冲さん」→半額 ◆「伊藤若冲さん」→無料
実施期間：2020 年 10 月 4 日(日) ～ 2021 年 3 月 28 日(日)
※現在の本名の漢字が一致する方で、ご本人様に限ります。
※受付にてご本人様の姓名のわかるもの (免許証・保険証等) をご提示ください。
※他の割引との併用はできません。



講演会

- 伊藤若冲の生涯と画業
日時：2020 年 11 月 28 日(土) 13:00～14:30
講師：小林 忠 (岡田美術館 館長)
 - 伊藤若冲と京都画壇
日時：2021 年 3 月 13 日(土) 13:00～14:30
講師：小林 忠 (岡田美術館 館長)
- ※電話申し込み (先着 80 名) TEL：0460-87-3931
参加費無料 (要入館料)

関連講座

- 着色画と水墨画 —若冲の絵の魅力—
日時：2020 年 11 月 7 日(土) 13:00～14:30
講師：小林 優子 (岡田美術館 主任学芸員)

特集展示スライドトーク

- 中国北方の白磁と青磁 一定窯・耀州窯・汝窯—
日時：2021 年 3 月 20 日(土) 13:00～14:00
講師：佐藤 有沙 (岡田美術館 学芸員)
- ※申し込み不要 / 参加費無料 (要入館料)

ギャラリートーク

- ◎館長によるギャラリートーク : 2020 年 10 月 8 日・29 日、11 月 5 日・19 日、12 月 3 日・17 日、
2021 年 1 月 7 日・21 日、2 月 4 日・18 日、3 月 4 日・18 日
いずれも木曜日 13:30～
- ◎学芸員によるギャラリートーク : 2020 年 10 月 9 日～2021 年 3 月 19 日の毎週金曜日 11:00～
- ※申し込み不要 / 参加費無料 (要入館料)

【次回展予告】 東西の日本画 —大観・春草・松園など— (仮) 2021 年 4 月 4 日(日) ～ 9 月 26 日(日)

【本件に関するお問い合わせ先】

・岡田美術館 広報担当：高橋・近森 TEL：0460-87-3931 FAX：0460-87-3934 E-mail：pr@okada-museum.com

※展示替えによる休館中 (9月28日～10月3日) は留守番電話となります。
お問い合わせは上記メールアドレスをご利用ください。

【岡田美術館について】

岡田美術館は2013年10月、箱根・小涌谷に開館しました。全5階、展示面積約5,000㎡という屋内展示面積としては箱根随一を誇る広大な館内に、日本・東洋の陶磁器や絵画などの美術品を常時約450点展示しています。現代日本画家・福井江太郎によって描かれた風神・雷神の大壁画の他にも、深見陶治、諸井謙司、樂雅臣など、現代作家の作品が屋内外に展示され、来館者をお迎えします。その他付帯施設もお楽しみください。



⑫美術館外観

庭園

岡田美術館の裏手には約15,000㎡におよぶ広大な庭園があり、四季折々に変化する箱根の自然をお楽しみいただくことができます。11月中旬頃には紅葉が見ごろを迎えます。秋を象った美術品の鑑賞と併せて、自然散策をしていただくのも、当館の楽しみ方の1つです。



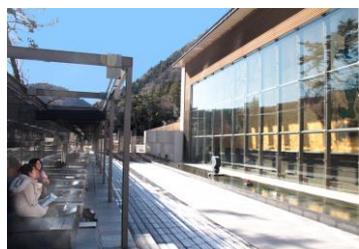
⑬庭園（紅葉）



開化亭

昭和初期の日本家屋を改装した風流な飲食施設「開化亭」は、明治半ば、この地にあった外国人向けホテルにちなんで名づけられました。趣ある古いガラス戸の向こうには、2か所に滝が流れ落ち鯉が回遊する池と、季節によって表情を変える庭園の木立が広がっています。「名物豆アジ天うどん」をはじめ、各種ドリンクなどをご用意しています。

⑭開化亭（秋）



足湯カフェ

縦12m、横30mに及ぶ風神・雷神の大壁画「風・刻（かぜ・とき）」（福井江太郎作）を前にした100%源泉かけ流しの足湯カフェでは、コーヒー、ビール、おしるこなどをお楽しみいただけます。中でも静岡県産の茶葉を使用した和紅茶は、「食のオスカー」とも呼ばれる『Great Taste Awards（英）』で金賞を受賞した逸品です。

⑮足湯カフェ



ミュージアムショップ

「美術館の感動を日常でも楽しめる」をコンセプトに、さまざまなオリジナルグッズをご用意しています。中でも、専属ショコラティエが手掛けるアートなチョコレートは、見た目はもちろん、「ペンテージバルサミコ×イチジク」「白トリュフ×栗」など、フレーバーの組み合わせも独創的で、通常は当館でしか手に入らないお土産としてご好評をいただいております。

⑯Okada Museum Chocolate『若冲・孔雀鳳凰』2,800円（税込）

没後 220 年 画遊人・若冲

広報用画像

広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- * 写真データの使用は本展覧会の紹介目的に限り、二次使用や改変（部分使用含む）は行わないでください。
- * ご使用後 2 週間以内に、当館より貸与した写真データ（以下原データという）を記録した媒体は当館に返却のうえ、保有する原データ（作業上発生したすべての原データの複製物及び複製データを含む）は消去してください。
- * web 掲載の際は「画像写真の無断転載を禁じる」旨を表記してください。
- * 作品写真には「岡田美術館蔵」（④のみ「個人蔵」）、作者名または産地、作品名、制作年ほか当館の指定する項目を表記してください。スペースに限りがあり、すべての記載が難しい場合は別途ご相談ください。
- * ご紹介いただく際は、本展の基本情報（日時・会場・電話番号・写真キャプションなど）の確認のため、校正を岡田美術館広報担当者までメールまたは FAX でお送りください。校正期間は中 3 営業日を基本として返答させていただきますので、期間に余裕をもってご送付ください。大変恐縮ではございますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- ※ 下記素材以外の写真データが必要な場合は、別途お問い合わせ願います。

			
① 花卉雄鶏図（部分）	② 孔雀鳳凰図（部分）	③ 梅花小禽図（部分）	④ 雪中雄鶏図（部分）
			
⑤ 笠に鶏図（部分）	⑥ 月に吠々鳥図（部分）	⑦ 三十六歌仙図屏風	⑧ 菊図屏風のうち（左隻部分）
			
⑨ 夕顔・楓図（部分）	⑩ 三美人図のうち（太夫図部分）	⑪ 牡丹花肖柏図屏風（部分）	⑫ 美術館外観
			
⑬ 庭園	⑭ 開化亭（秋）	⑮ 足湯カフェ	⑯ Okada Museum Chocolate 『若冲・孔雀鳳凰』

没後 220 年 画遊人・若冲 広報用画像データ貸出申込書

プレスリリースをご参照の上、ご希望の写真 No. に✓印をお付けください。

✓	No.	掲載時のキャプション
	1	伊藤若冲「花卉雄鶏図」(部分) 18 世紀中頃 岡田美術館蔵
	2	伊藤若冲「孔雀鳳凰図」(部分) 宝暦 5 年 (1755) 頃 重要美術品 岡田美術館蔵
	3	伊藤若冲「梅花小禽図」(部分) 18 世紀後半 岡田美術館蔵
	4	伊藤若冲「雪中雄鶏図」(部分) 18 世紀後半 岡田美術館蔵
	5	伊藤若冲「笠に鶏図」(部分) 18 世紀後半 岡田美術館蔵
	6	伊藤若冲「月に叭々鳥図」(部分) 18 世紀後半 岡田美術館蔵
	7	伊藤若冲「三十六歌仙図屏風」寛政 8 年 (1796) 岡田美術館蔵
	8	尾形光琳「菊図屏風」のうち (左隻部分) 18 世紀初頭 岡田美術館蔵
	9	尾形乾山「夕顔・楓図」(部分) 元文 5 年 (1740) 頃 岡田美術館蔵
	10	円山応挙「三美人図」のうち (太夫図部分) 天明 3 年 (1783) 重要美術品 岡田美術館蔵
	11	長沢蘆雪「牡丹花肖柏図屏風」(部分) 18 世紀後半 岡田美術館蔵
	12	美術館外観
	13	庭園
	14	開化亭
	15	足湯カフェ
	16	Okada Museum Chocolate 『若冲・孔雀鳳凰』

申し込みフォーム *お名刺の添付でも構いません

貴社名			
媒体名			
ご担当者様名		TEL	
部署名		FAX	
E-mail			
ご住所	〒 —		
放送・掲載内容			
放送・掲載予定日	年 月 日	放映エリア/ 発行部数	
画像データ 必要期限	年 月 日		

プレゼント用招待券 (最大 5 組 10 枚) ご希望の方はご記入ください ※後日、応募数をお知らせください	組	枚
-----------------------------------------------------------	---	---